

[ここに入力]

粕谷和夫の観察日記より。富士森公園の躑躅園でヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、コゲラなどの混群に囲まれていると、ウグイスが一瞬姿を現しました。ツツジの株元で採餌を始めたようでした。♡ウグイスの声は聴けども姿見せず！

紅葉台



新聞

第69号

2023年
3月18日

発行人：関谷 孝

カワセミ会 地元探鳥会

富士森公園から山田川～6本杉公園まで

昨年に続いて、ほぼ同じコースでの探鳥会です。同じコースでも条件が違ふとまた新たな発見があります。そこで、今回は、新たな発見を中心に報告します。

2月15日は雪が降ったあとの晴れ間で北風が吹く寒い日でした。富士森公園は、木々が葉を落とし寒々としていました。落ち葉の中の餌を啄むキジバトが数羽いました。日の当たる梢にはシジュウカラが囀っていました。もう営巣の準備をしているのでしょうか。浅間神社では、「ここから富士山が見えるので浅間神社という」との会長の話で、遠く真っ白な綿帽子をかぶった富士山が見えました。丹沢も雪が降って山の稜線が綺麗です。神社の鳥居の近くの樹は、会長が以前紹介したツミの巣があり、幼鳥を写真で紹介したところです。(新聞41号)



この後、緑町墓地に行き、富士山が見える絶好の場所で景色を楽しみました。その後、山田川沿いに歩きました。この川は「八王子で唯一残っている自然の状態の川」で「瀬(魚が餌を

探す場)と淵(魚が産卵する深い場)が上手くできている」と粕谷会長が教えてくれました。生き物にとって住みやすい条件なのだそうです。去年はここでいくつかの野鳥を見つけたのですが、今回はなし。北風が吹いて寒いからでしょうか。しかし、すぐそばにある公園はよく見ると地元の方が私財で作ったものだと掲示板に書いてありました。なかなかそういう方はいませんので感心します。途中、不思議な祠「姫竜神」を見ました。屋根にオナガが2羽飾ってありました。地域の方が大切にしている様子うかがえました。(新聞41号で紹介済み)



緑町緑地では、甲斐犬を連れて人に出会いました。「この犬は富士山が噴火した後、命からがら生き延びて集団で彷徨っていたのを捕まえて繁殖した由緒ある日本犬です」と話していました。流石に毛並みも動作も飼いならされているのとは違って俊敏でした。飼い主もかまれるとのこと。そこは、同じニホンオオカミの血筋を引くうちの柴犬と似ています！

黄金橋まで来ると、暖かくなったのか、カワラヒワが木に集団で集まっていました。キセキレイも水辺にいます。フェンスにはジョウビタキが止まってピッ、ピッと鳴いていました。なぜか人の多く住んでいるところにいるものです。



最後は新しくできたいずみの森義務教育学校の裏にある6本杉公園です。八王子には湧水があちこちにあります。市役所の方が池の掃除に来てい

紅葉台新聞が『高尾フモト同盟』に掲載されています。高尾にあるお店や様々な情報が満載です。検索して見てください。皆さんからの投稿もお待ちしております。自分の興味のあること、地域情報などお寄せください。

ました。池にはカルガモが15羽。湧水がきれいで住み心地がいいのでしょうか。広場では珍しくツグミが餌を探していました。ツグミを見ると冬鳥なのでよく来たねと声を掛けたくなります。他にはムクドリが集団で餌を啄んでいました。ここで、最後に鳥合わせをしました。20種。ベストはツグミとカワラヒワでした。

地元探鳥会は何度来ても時期や気象条件によって観察できる鳥が違います。今回のように少ないなと思っても会いたかった鳥と会えると一段と嬉しさが増します。皆さんと一緒にだからこそ教えてもらうことも出来ます。一人では出かけることがない散策路に行き野草や野鳥など発見することが出来ます。この話を読んで興味を持った方は、カワセミ会の探鳥会に参加してみませんか。

(文責 関谷)

粕谷和夫の観察日記 コミミズク



埼玉県三郷の江戸川の川原にコミミズクが出ているという情報を聞いたので行ってみました。15時に川原につくと100人以上のバードウォッチャーが集まっていました。15時10分頃からコミミズクが1羽現れ、そのうちに2羽になりました。小さい耳(コミミ)のズク(みみずく)という意味で、大きなフクロウの仲間です。縦型の写真は後ろ姿ですが、顔を180度回転したところです。



♡コミミズクは、名前から小さいみみずくと勘違いしやすいですね。フクロウは夜に行動するのかと思いましたが、コミミズクは夕方から活動します。眼が大きいのは夜行性なので獲物がよく見えるようにでしょうか。ここには餌となるネズミがたくさんいるということなのでしょう。フクロウが生活できる環境というのはそれだけ自然の循環が上手くいっている証拠です。



ヤマガラ

自宅近くの富士森公園までカメラを掲げて散策に行きました。公園でしばし鳥が来るのを待っていると、ヤマガラがアカマツの幹にやって来ました。皮を突き出したところにカメラを向けたら、飛翔姿を撮ることが出来ました。

♡決定的瞬間ですね。ヤマガラの羽が綺麗に開いて普段見ることができない羽を見ることが出来ました。定点観測をしながら鳥が来るのを待ち構えて写真を撮るというのも1つのアイデアですね。ヤマガラは、姿といいしぐさといい愛嬌のある鳥です。木の幹のところにいる虫を捕まえているところでしょうか。